

<https://prowriters.jp/grammar/subject>

主語とは

上手な文章を書くための主語のコツ

主語とは何を意味するのか。主語と述語・修飾語・目的語との関係や使い方についてわかりやすく解説します。主語の探し方・見分け方についても紹介します。また、主語の省略についても例文を交えてお伝えします。



pro writers team

最終更新日：2018年12月19日

参考文献：文部科学省中学校学習指導要領など（末尾に記載）

主語は、何が・誰がなどをあらわす言葉です。「私は」「星が」「夏祭りが」などが主語の一例です。この記事では、主語の特徴や使い方、主語の省略について解説します。どのような時に主語を省略してよいのか、主語を省略する時の注意点についてもわかりやすくお伝えします。

主語とは

主語とは、文の中で**何が・誰がなどをあらわす言葉**です。例えば、「**花が**きれい」や「**私が**走った」では、「花が」「私が」が主語で、文の中の主題や動作の主体(動作をする人やもの)を示しています。

そして、文の中で主語とセットで用いられるのが述語です。述語は、主語を詳しく説明する語です。

私たちは、お金が足りなかったので2駅先まで**歩いた**

「**私たちは**」が主語、「**歩いた**」が述語です。述語は、主語が「**どうした**」かを詳しく説明します。主語と述語をあわせると「**何が・どうした**」という文の骨格となります。

主語の見つけ方

日本語の主語を見つけるポイントは、**とにかく先に述語を探す**ことです。述語を見つけてから、**それをしたのは誰か(何か)**を探すことで主語を簡単に見つけることができます。

主語の特徴

主語は助詞「**～は**」や「**～が**」を伴います。

主語の見つけ方

- まずは、**文末にある述語**を見つける
- **述語と意味がつながる語**を見つける(誰が～どうした。の誰がにあたる部分)

主語がない文章 (主語の省略)

主語でよく問題になるものとして、主語がない文章があります。日本語の主語は省略することができます。例えば、**同じ主語が続く時や、言わなくても主語に通じる時**に主語を省略します。

以下は主語である「**私が**」を省略した文です。

私は髪が長い。瞳は黒だ。一人暮らしをしていて、実家は遠く北海道にある。大学への進学を機に東京に出てきた。

この文を主語を省略せずに言おうとすると、次のようになります。

私は髪が長い。瞳は黒だ。**私は**一人暮らしをしていて、実家は遠く北海道にある。**私は**大学への進学を機に東京に出てきた。

全ての文に「私は」が入っているとかえって読みにくいのではないのでしょうか。このような時には、主語を省略すると読みやすくなります。日本語では文の前後の関係から、主語が何なのかを察します。

ただし、主語が分かりにくいにも関わらず主語を省略してしまうケースには注意が必要です。

主語の省略の例

話している相手「22 になったよ」

↓

22 になったのは年齢？日付？体重？

このような主語の省略は、日常的な会話では非常に頻繁に見られます。会話での主語の省略は、相手に「何が？」と質問すればよいことですが、文章の場合は主語がないことで文章の意味が通じなくなってしまうのです。

文章を書いている時、読者を意識しないで文章を書き進めてしまうと、つい主語を省略しすぎてしまい、意味がわからない文章になってしまうことがあります。これは是非とも避けたいところです。

主語の省略とは

- 日本語では、同じ主語が続く時や、言わなくても通じる時に主語を省略する

- 省略して意味が通じなくなることがあるので注意が必要

主語を省略する際には、客観的に見て主語がなくても意味が通じるかどうかに注意し、誰にでも分かりやすい文章を書くように意識することが大切です。

まとめ

主語とは

- 「誰が・何が」をあらわす
- 主語を見つけるには、まず文末にある述語を探す
- 主語は省略されることがある

主語の働きについて解説しました。正しい日本語を覚えることで、相手に誤解を与えることが少なくなり、言いたいことがスムーズ伝わります。間違った文章を指摘することもできるようになるので、少しずつ覚えていきましょう。

本解説は、文部科学省（平成 29 年度告示）中学校学習指導要領に準拠した中学校国語教科書をはじめとする国語文法をわかりやすい観点で解説することを目的に作成されております。参考文献の詳細はページ末尾をご覧ください。

-

[ツイート](#)

-

[シェア](#)

pro writers 編集部

<https://prowriters.jp/services/company>

日本語文法の基礎を分かりやすく丁寧に解説します。文法に関する知識は文章力や読解力の入り口です。専門書の内容をもとに、これだけは知っておきたい国語のベーシックな知識を集め、より理解しやすい言葉でご紹介します。多くの方に読まれ続けているこの『日本語文法』をレベルアップや文法の振り返りにお役立てください。

日本語文法の品詞一覧

基本

- [文法まとめ](#)
- [ことばの単位](#)
- [文の構造](#)

構造

- [主語](#)
- [述語](#)
- [修飾語](#)
- [接続語](#)
- [独立語](#)

品詞

- [名詞](#)
- [動詞](#)
- [形容詞](#)

- [形容動詞](#)
- [助詞](#)
- [助動詞](#)
- [副詞](#)
- [連体詞](#)
- [接続詞](#)
- [感動詞](#)

敬語

- [敬語まとめ](#)
- [尊敬語](#)
- [謙讓語](#)
- [丁寧語](#)

表現

- [受け身](#)

参考文献

- 『[国語1](#)』『[国語2](#)』『[国語3](#)』光村図書（中学校国語教科書）
- 『[中学校学習指導要領（平成29年告示）解説](#)』文部科学省
- 『[国語教師が知っておきたい日本語文法](#)』山田敏弘 くろしお出版
- 『[初級を教える人のための日本語文法ハンドブック](#)』[監修] 松岡弘 [著] 庵功雄
高梨信乃 中西久実子 山田敏弘 [出版] スリーエーネットワーク
- 『[中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック](#)』[監修] 白川博之 [著] 庵功雄
高梨信乃 中西久実子 山田敏弘 [出版] スリーエーネットワーク

- 『[助詞・助動詞の辞典](#)』 森田良行 東京堂出版
- 『[日本人のための日本語文法入門](#)』 原沢伊都夫 講談社現代新書
- 『[基礎日本語文法 一改訂版一](#)』 益岡隆志 田窪行則 くろしお出版